

海水淡水化装置 マルチ展開

建機洗浄用に拡販

ワイズグローバルビジョン

【那覇】ワイズグローバルビジョン(沖縄県うるま市、柳瀬良奎社長、098・923・1432)は、可搬式の海水淡水化装置を建設機械の洗浄用として拡販する。海辺の工事など塩害の恐れのある現場での利用を見込む。水道未整備場所における錆防止のための洗浄などで需要を開拓する。ろ過装置と貯水タンクなどをキットに、初年度100台の販売を見込む。

塩害対策需要狙う



タンク①などをセットにした海水淡水化装置

ワイズグローバルビジョンは逆浸透膜(RO)を使った淡水化装置メーカー。可搬式の海水淡水化装置は99.9%以上の塩分を除去し、飲用も可能。海上土木港湾施設建設業者や建機レンタル業者への販売を積極化する。雨水やトンネル掘削の排水にも対応できるため山間部での水需要にも応える。

消費税抜きの価格は淡水化能力が毎時100㍉の装置と200㍉タンク、洗浄ガンのセットで160万円から。

需要に応じて淡水化能力が毎時1500㍉の大型製品まで複数サイズをそろえる。駆動方式は電気が軽油、ガソリン。

従来、災害対応用や船舶の非常用をメインにしてきたが平時の陸上での需要を開拓して販売数を伸ばす。今後、陸上用途の年間販売を1000台規模まで伸ばし、売り上げの柱に育てる考え。柳瀬社長は「マルチな用途を生かせる」と意気込んでいる。